

2020年第11週(3月9日~3月15日)

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

感染症発生動向調査

名古屋市感染症発生動向調査情報

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部)

2020年(令和2年)3月18日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0.html>

◆新型コロナウイルス感染症について

- 中華人民共和国湖北省武漢市において、昨年12月以降、新型コロナウイルス感染症の発生が複数報告されて以来、世界各地で患者発生の報告が続いています。
- 市民の皆様におかれては、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に一人一人の咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。
- 風邪症状があれば、外出を控えていただき、やむを得ず、外出される場合にはマスクを着用していただくよう、お願いします。
- 集団感染の共通点は、特に、「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」です。換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。
- 次の症状がある方は、「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。
 - ・ 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。
(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます)
 - ・ 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。**※高齢者や基礎疾患等のある方、妊婦の方は、上の状態が2日程度続く場合**
- センターでご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。
- 本市で設置している「帰国者・接触者相談センター」については、下記の本市公式ウェブサイトをご覧ください。

帰国者・接触者相談センター一覧(名古屋市)
<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000125533.html>
- 新型コロナウイルス感染症の詳細な情報については下記リンク等をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症について(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

新型コロナウイルスに関連する肺炎について(名古屋市)
<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000124556.html>

〔名古屋市及び愛知県における新型コロナウイルス感染症患者の発生状況：3月17日現在〕

県内No.	本市No.	確定日	発熱日	年齢	性別	居住地	患者概要	
125	100	3月17日	3月16日	30歳代	男	名古屋市	県内119例目の患者(本市96例目:3月14日公表患者E)の濃厚接触者。	
124	-		3月12日	30歳代	女	清須市	行動歴、濃厚接触者については現在調査中。	
123	99	3月16日	3月15日	70歳代	男	名古屋市	県内48例目の患者(本市37例目:3月4日公表患者E)と入院前に接触あり。	
122	-		3月6日	50歳代	男	一宮市	2月23日フィリピンへ出国。3月2日フィリピンから帰国。	
121	98 (患者G)	3月14日	なし	30歳代	女	名古屋市	県内111例目の患者(本市89例目:3月12日公表患者E)と入院中に接触あり。	
120	97 (患者F)		3月13日	50歳代	女	名古屋市	県内95例目の患者(本市77例目:3月10日公表患者F)と入院前に接触あり。	
119	96 (患者E)		3月13日	60歳代	女	名古屋市	県内79例目の患者(本市65例目:3月8日公表患者I)と入院前に接触あり。	
118	95 (患者D)		3月13日	50歳代	女	名古屋市	県内55例目の患者(本市43例目:3月5日公表患者E)の濃厚接触者。	
117	94 (患者C)		3月13日 (咳、咽頭痛)	50歳代	女	名古屋市	県内49例目の患者(本市38例目:3月4日公表患者F)の濃厚接触者。	
116	93 (患者B)		3月13日 (咳)	70歳代	男	名古屋市	県内115例目の患者(本市92例目:3月14日公表患者A)の濃厚接触者。	
115	92 (患者A)		3月12日	70歳代	女	名古屋市	県内49例目の患者(本市38例目:3月4日公表患者F)と入院前に接触あり。	
114	91 (患者B)		3月13日	3月12日	60歳代	男	名古屋市	県内69例目の患者(本市55例目:3月7日公表患者E)と入院前に接触あり。
113	90 (患者A)	3月12日		40歳代	男	名古屋市	県内95例目の患者(本市77例目:3月10日公表患者F)の濃厚接触者。	
112	-	3月7日		60歳代	女	半田市	県内36例目の患者(愛知県3月3日発表患者D)の家族(濃厚接触者)。	
111	89 (患者E)	3月12日	3月11日 (肺炎)	70歳代	女	名古屋市	本市公表事例との接触は現時点において確認できず。	
110	88 (患者D)		3月11日	80歳代	女	名古屋市	県内56例目の患者(本市44例目:3月5日公表患者F)と入院前に接触あり。	
109	87 (患者C)		3月11日 (肺炎)	80歳代	女	名古屋市	県内90例目の患者(本市72例目:3月10日公表患者A)の濃厚接触者。	
108	86 (患者B)		3月11日 (咳、倦怠感)	50歳代	女	名古屋市	県内76例目の患者(本市62例目:3月8日公表患者F)の濃厚接触者。	
107	85 (患者A)		3月11日	60歳代	男	名古屋市	県内66例目の患者(本市52例目:3月7日公表患者B)と入院前に接触あり。	
106	(患者B)		-	3月4日	30歳代	男	一宮市保健所管内	行動歴、接触歴については現在調査中。
105	(豊田市) (患者A)		-	3月8日	30歳代	女	豊田市	県内42例目の患者(愛知県3月4日発表患者A)の濃厚接触者。
104	(岡崎市2 患者B)		-	3月9日	50歳代	男	岡崎市	県内103例目の患者(岡崎市3月11日発表患者A)の家族。
103	(岡崎市1 患者A)	-	2月26日 (咳、倦怠感)	70歳代	女	岡崎市	県内34例目の患者(愛知県3月3日発表患者B)と2月17日、24日及び26日に接触(施術)あり。	
102	84 (患者C)	3月11日	3月10日	80歳代	男	名古屋市	県内56例目の患者(本市44例目:3月5日公表患者F)と入院前に接触あり。	
101	83 (患者B)		3月10日 (倦怠感)	30歳代	女	名古屋市	県内48例目の患者(本市37例目:3月4日公表患者E)と入院前に接触あり。	
100	82 (患者A)		3月10日 (咳)	50歳代	女	名古屋市	県内48例目の患者(本市37例目:3月4日公表患者E)と入院前に接触あり。	

3月17日現在、名古屋市内では100人(愛知県内125人)の感染者が確認されています。なお、県内No.1~99(本市No.1~81)の感染者情報については、名古屋市感染症発生動向調査情報(2020年第8週~第10週)に掲載していますので、下記のリンクをご覧ください。

- ・名古屋市感染症発生動向調査情報(週報・月報)

<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000101900.html>

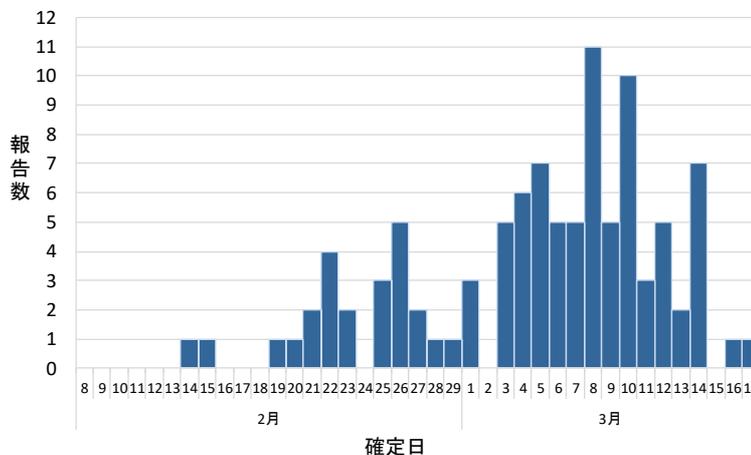
〔名古屋市における新型コロナウイルスに関連した死亡者(3月17日現在)〕

No.	死亡確認日	年齢	性別	国籍	居住地	基礎疾患	備考
14	3月16日	70歳代	男性	日本	名古屋市	非公表	新型コロナウイルス肺炎
13	3月16日	80歳代	男性	日本	名古屋市	非公表	新型コロナウイルス肺炎
12	3月15日	非公表 (高齢者)	男性	日本	名古屋市	非公表	
11	3月14日	非公表 (高齢者)	女性	日本	名古屋市	非公表	新型コロナウイルス肺炎
10	3月13日	非公表 (高齢者)	男性	日本	名古屋市	非公表	
9	3月13日	90歳代	男性	日本	名古屋市	悪性腫瘍	新型コロナウイルス肺炎
8	3月12日	70歳代	女性	日本	名古屋市	-	新型コロナウイルス肺炎
7	3月12日	90歳代	男性	日本	名古屋市	心疾患	新型コロナウイルス肺炎
6	3月12日	80歳代	女性	日本	名古屋市	高血圧	新型コロナウイルス肺炎
5	3月11日	80歳代	男性	日本	名古屋市	尿路感染症	新型コロナウイルス肺炎
4	3月11日	80歳代	男性	日本	名古屋市	悪性腫瘍、 心疾患、 糖尿病	死因は心筋梗塞
3	3月10日	非公表	非公表	日本	名古屋市	-	死亡後の検査にて新型コロナウイルス陽性と判定。
2	3月10日	非公表	非公表	日本	名古屋市	-	
1	3月7日	80歳代	男性	日本	名古屋市	-	新型コロナウイルス陽性患者と接触あり。 死亡後の検査にて新型コロナウイルス陽性と判定。

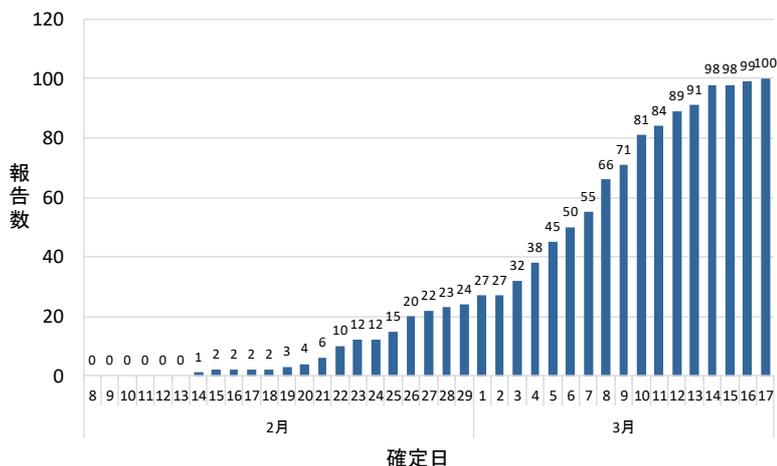
3月17日現在、名古屋市内で確認された新型コロナウイルスに関連した死亡者は14人となっています。

〔名古屋市における新型コロナウイルス感染症報告数：3月17日現在〕

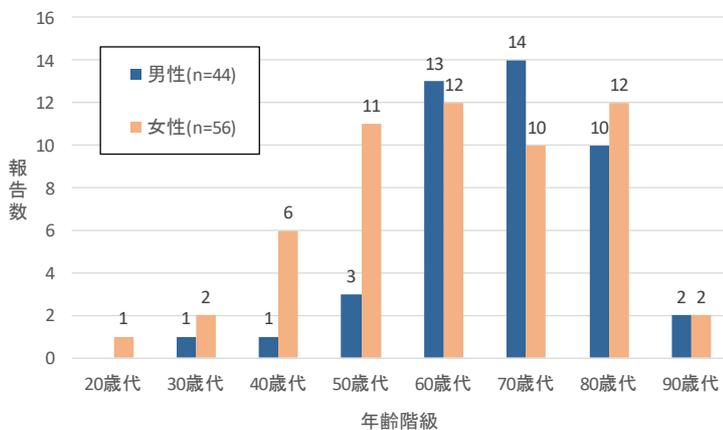
新型コロナウイルス感染者数(名古屋市 n=100)



感染者数の累計(名古屋市)



性別・年齢階級別報告数(名古屋市)



(報告数は本市公表資料に基づく)

◆本市の状況

〔インフルエンザ〕

- 本市における2020年第11週(3月9日～3月15日)のインフルエンザの定点当たり患者報告数は1.41人で、前週(3.71)より減少しました。
- インフルエンザB型の患者が多く報告されています。2019/20シーズンはインフルエンザウイルスのうちA/H1N1pdm09亜型が全国的に最も多く検出されており、A/H3N2亜型、B型ビクトリア系統も検出されています。
- インフルエンザは小児や高齢者、免疫力の低下している方では重症化する場合がありますので注意が必要です。
- 主な感染経路は、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介した接触感染です。予防には人ごみを避け、帰宅時には手洗いを行い、また、感染を広げないためにも「咳エチケット」を守りましょう。

〔定点把握感染症の発生動向〕

- 突発性発しんの定点当たり患者報告数は、前週の0.09人から0.14人に増加しました。

〔1類～5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2020年第11週	2類	結核	9	<ul style="list-style-type: none"> • 女性、44歳、肺結核 • 女性 77歳、肺結核 • 男性、84歳、肺結核 • 男性、74歳、肺結核 • 男性、89歳、肺結核、粟粒結核 • 男性、93歳、肺結核、腸結核 • 女性、55歳、無症状病原体保有者 • 男性、68歳、無症状病原体保有者 • 男性、61歳、無症状病原体保有者
2020年第11週	5類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	<ul style="list-style-type: none"> • 男性、89歳、菌検出検体：血液
2020年第11週	5類	水痘(入院例)	1	<ul style="list-style-type: none"> • 女性、26歳、検査診断例

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

2020年 第11週	5類	梅毒	1	・男性、32歳、早期顕症梅毒（1期）
2020年 第11週	5類	百日咳	4	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、3歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市 ・女性、53歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市 ・女性、0歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 ・男性、3歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった1類から5類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2020年 第10週	4類	レジオネラ症	1	・男性、94歳、肺炎型、感染地域：名古屋市
2020年 第10週	5類	梅毒	2	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、46歳、早期顕症梅毒（2期） ・男性、48歳、晩期顕症梅毒
2020年 第10週	5類	百日咳	1	・男性、64歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市
2020年 第9週	5類	劇症型溶血性連鎖球菌感染症	1	・女性、77歳
2020年 第9週	5類	梅毒	1	・女性、31歳、無症状病原体保有者
2020年 第7週	5類	梅毒	1	・女性、22歳、無症状病原体保有者
2019年 第51週	5類	梅毒	1	・男性、61歳、無症状病原体保有者

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

〔2020年1類～5類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2類感染症	急性灰白髄炎	0
2類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	113 (29) [0] [0] 【0】
2類感染症	ジフテリア	0
2類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
指定感染症	新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。）	42[1]
3類感染症	コレラ	0
3類感染症	細菌性赤痢	0
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2
3類感染症	腸チフス	0
3類感染症	バラチフス	0
4類感染症	デング熱	3
4類感染症	A型肝炎	1
4類感染症	レジオネラ症	4
5類感染症	アメーバ赤痢	6
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	8
5類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	3
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5
5類感染症	後天性免疫不全症候群	11 (10)
5類感染症	ジアルジア症	1

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

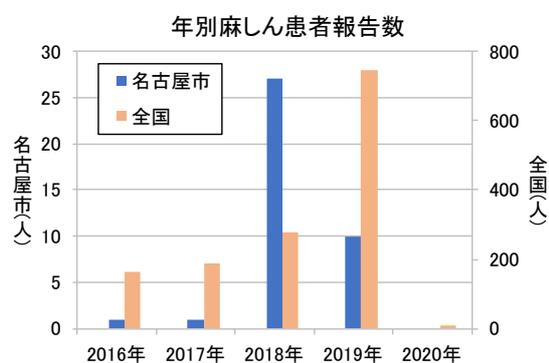
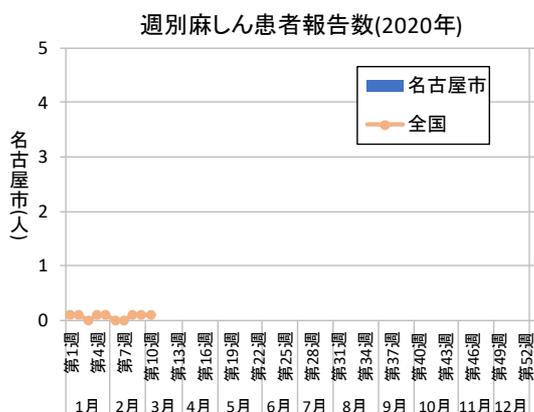
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7
5 類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	1
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	18
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	3
5 類感染症	梅毒	30 (7)
5 類感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
5 類感染症	百日咳	34
5 類感染症	風しん	7

累計は 2020 年第 1 週からの診断週による累計、() 内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[] 内は疑似症累計数を再掲、【 】 内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕 内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉 内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔名古屋市の麻しん報告数：2020年3月18日作成〕



週別麻しん患者報告数(2020年)

名古屋市	第1週	第4週	第7週	第10週	第13週	第16週	第19週	第22週	第25週	第28週	第31週	第34週	第37週	第40週	第43週	第46週	第49週	第52週	第11週(3月15日)までの合計(人)
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

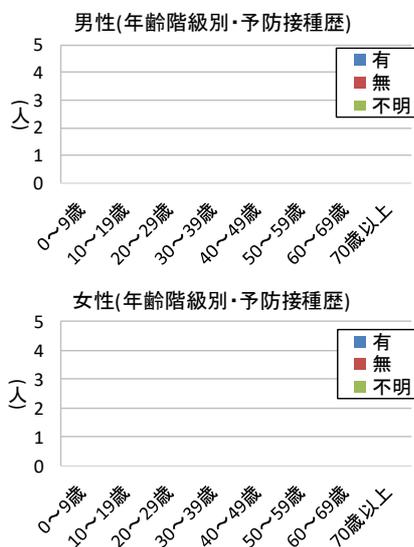
年別麻しん患者報告数

麻しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
名古屋市	75	11	6	19	5	1	20	0	1	1	27	10	0※1
愛知県	197	29	32	32	39	25	46	0	5	1	37	41	2※2
全国	11013	732	447	439	283	229	462	35	165	186	279	744※3	7※2

※1 第11週(3月15日)まで ※2 第10週(3月8日)まで ※3 報告数は速報値

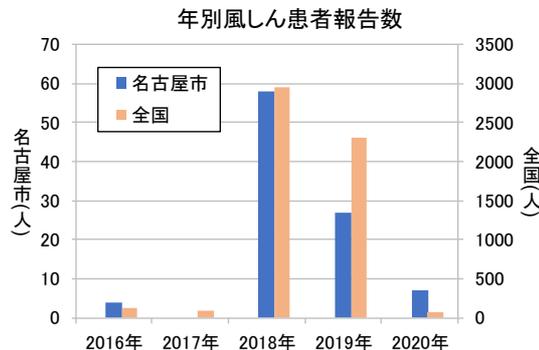
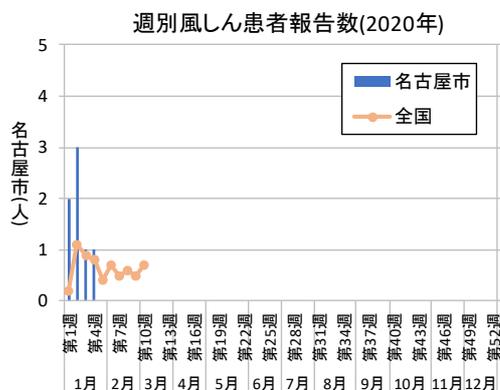
麻しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2020年名古屋市)

		予防接種歴			
		有	無	不明	総計(人)
男性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳				0
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
計(人)				0	
女性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳				0
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
計(人)		0	0	0	
総計(人)		0	0	0	



(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の風しん報告数：2020年3月18日作成〕



週別風しん患者報告数(2020年)

名古屋市	第1週 (12/30~ 1/5)	第2週 (1/6~ 1/12)	第3週 (1/13~ 1/19)	第4週 (1/20~ 1/26)	/				第11週(3月15日)まで の合計(人)
		2	3	1	1				

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

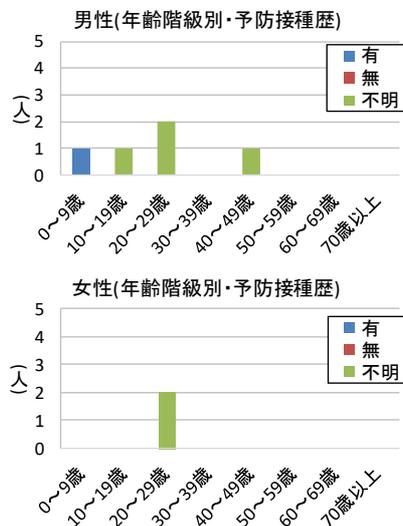
年別風しん患者報告数

風しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
名古屋市	1	1	0	7	38	191	7	2	4	0	58	27	7※1
愛知県	3	10	3	13	97	375	22	13	20	3	118	59	7※2
全国	303	147	87	378	2386	14344	319	163	126	91	2946	2306※3	64※2

※1 第11週(3月15日)まで ※2 第10週(3月8日)まで ※3 報告数は速報値

風しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2020年名古屋市)

		予防接種歴			
		有	無	不明	総計(人)
男性	0~9歳	1			1
	10~19歳			1	1
	20~29歳			2	2
	30~39歳				0
	40~49歳			1	1
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	1	0	4	5
女性	0~9歳				0
	10~19歳				0
	20~29歳			2	2
	30~39歳				0
	40~49歳				0
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	0	0	2	2
	総計(人)	1	0	6	7



風しん患者情報(2020年名古屋市)

No	診断年月日	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	2020.1.4	20歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
2	2020.1.5	20歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
3	2020.1.8	20歳代	女	不明	国内(愛知県 名古屋市)
4	2020.1.9	5歳	男	有	国内(愛知県)
5	2020.1.11	10歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
6	2020.1.14	20歳代	女	不明	国内(愛知県 名古屋市)
7	2020.1.23	40歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔愛知県麻疹・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻疹・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻疹・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

〔定点医療機関からの情報〕

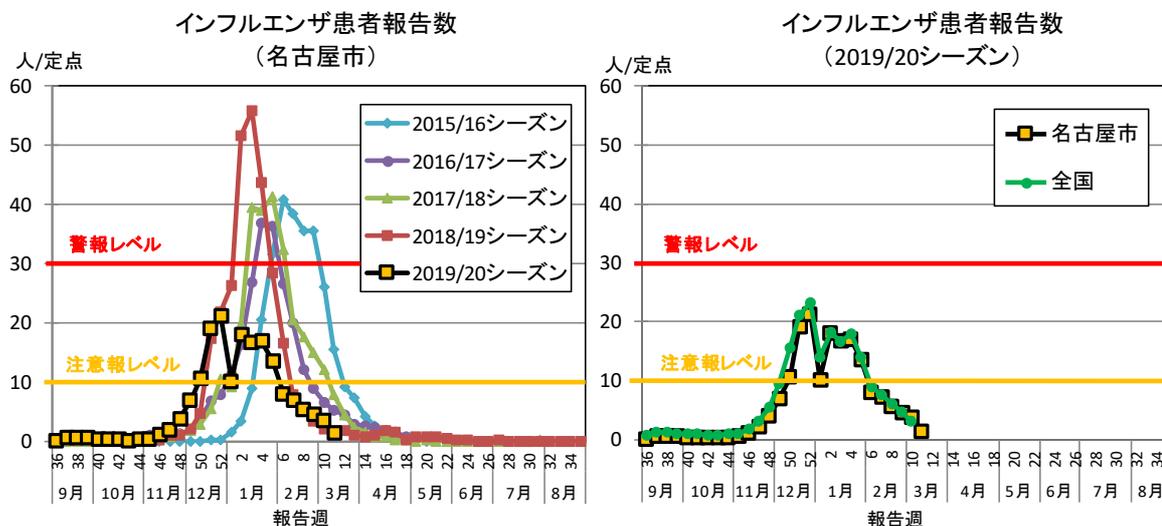
定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

インフルエンザ：B型 1 名	定点医療機関（千種区）
アデノウイルス咽頭炎：2 歳児 1 名 3 歳児 3 名 10 歳児 1 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ：B型 2 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザB型男 2 名	定点医療機関（東区）
インフルエンザB型 2 名	定点医療機関（東区）
インフルエンザはB型です。	定点医療機関（西区）
インフエンザ A 型 4 人・B 型 1 人	定点医療機関（中村区）
インフエンザ B 型 1 人	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ B 型 3 人	定点医療機関（中村区）
インフルエンザB型：1 名	定点医療機関（中区）

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

インフルエンザB型：1名	定点医療機関（中区）
インフルエンザB型 1名	定点医療機関（瑞穂区）
インフルエンザB型：1名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザB型2名	定点医療機関（港区）
インフルエンザA型男性1名	定点医療機関（南区）
インフルエンザB型2名	定点医療機関（南区）
インフルエンザB型1名	定点医療機関（南区）
B型	定点医療機関（緑区）
B型	定点医療機関（緑区）
インフルエンザB型1名でした。	定点医療機関（名東区）

〔名古屋市のインフルエンザ報告数：2020年3月18日作成〕



※名古屋市は2020年第11週、全国は2020年第10週までの報告数

定点当たり患者報告数(2019/20シーズン:8週分)

	第4週 (1/20～ 1/26)	第5週 (1/27～ 2/2)	第6週 (2/3～ 2/9)	第7週 (2/10～ 2/16)	第8週 (2/17～ 2/23)	第9週 (2/24～ 3/1)	第10週 (3/2～ 3/8)	第11週 (3/9～ 3/15)
名古屋市	16.91	13.60	8.11	7.14	5.54	4.70	3.71	1.41
名古屋市 (2018/19)	43.69	28.47	16.67	7.91	5.21	3.34	2.21	1.71
愛知県	25.14	19.76	11.33	10.13	8.81	7.57	4.65	—
全国	18.00	14.11	9.04	7.49	6.12	4.47	3.13	—

※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警報の基準
 ※報告数は各週公表時における速報値

各区の患者報告数(第11週)

	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
市内70定点からの 患者報告数(人)	3	5	8	9	9	2	0	1	4	21	8	5	10	7	3	4	99
定点当たり 患者報告数(人)	0.6	1.3	1.6	2.3	1.8	0.5	0.0	0.2	1.0	5.3	2.0	1.3	2.0	1.8	0.8	1.0	1.41

インフルエンザ



2020年第11週

注意報警報レベルについて

患者報告状況 (定点当たり患者報告数)	色
平常レベル	
注意報レベル	黄色
警報レベル	赤色

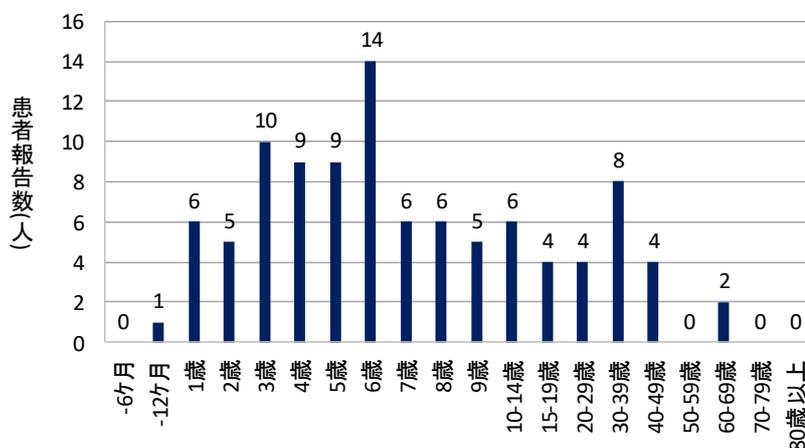
注意報・警報レベルの基準値(定点当たり患者報告数)

注意報レベル	警報レベル	
	基準値	終息基準値
10	30	10

注意報レベル: 定点当たりの患者報告数が10以上30未満の場合
 警報レベル: 定点当たりの患者報告数が30以上となり、その後、10未満となるまで

年齢階級別患者報告数

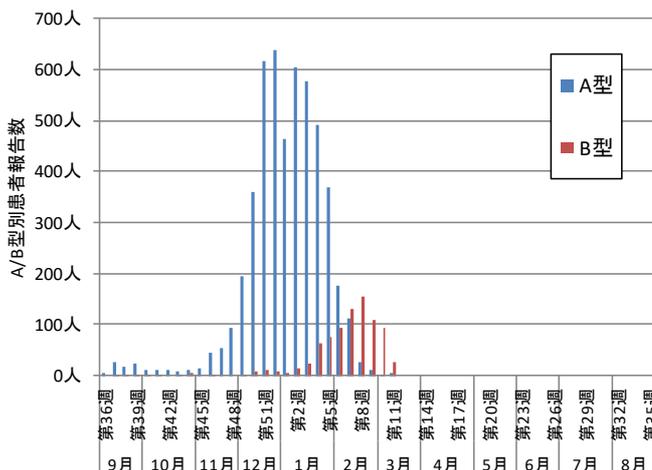
定点からのインフルエンザの 年齢階級別患者報告数(第11週)



インフルエンザA/B型別流行状況

インフルエンザウイルス迅速診断キットによるインフルエンザA/B型別の検査結果が定点医療機関から報告されています。本市におけるインフルエンザA/B型別の患者情報を集計したところ、2020年第11週は、インフルエンザA型5人、インフルエンザB型25人で、B型の患者が多く報告されています。2019/20シーズンの累計では、インフルエンザA型4962人(86%)、B型829人(14%)となっています。2019/20シーズンはインフルエンザウイルスのうちA/H1N1pdm09亜型が全国的に最も多く検出されており、A/H3N2亜型、B型ビクトリア系統も検出されています。

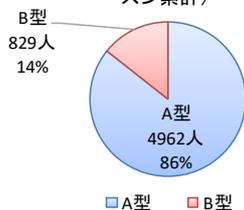
インフルエンザA/B型別患者報告数(2019/20シーズン) (定点医療機関からの情報による)



インフルエンザA/B型別患者 報告数の割合(第11週)



インフルエンザA/B型別患者 報告数の割合(2019/20シーズン累計)



(報告数はその訂正などにより、変更される場合があります)

◆2020年第11週 患者報告数(疾病区別)、定点あたり患者報告数(疾病区別)、年齢階層別患者報告数(疾病別)

患者報告数(名古屋市)

2020年第11週(2020年3月9日~3月15日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★インフルエンザ	3	5	8	9	9	2		1	4	21	8	5	10	7	3	4	99	0.4	0.3
○RSウイルス感染症	1		1	5	3					2		2		2		1	17	0.6	1.6
○咽頭結膜熱	2	1	1	6						2					1		13	0.4	1.0
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	3	2	6	2	4	1			10	9	3	7	2	6	5	64	0.6	0.8
○感染性胃腸炎	8	2	15	21	8		9			10	13	4	6	4	10	10	120	0.6	0.6
○水痘			1										2	1		2	6	0.5	0.8
○手足口病																	0	0.0	0.0
○伝染性紅斑					1												1	0.2	0.2
○突発性発疹			1	3									3	2	1		10	1.7	0.9
○ヘルパンギーナ																	0	0.0	0.0
○流行性耳下腺炎			1														1	1.0	0.4
△急性出血性結膜炎																	0		0.0
△流行性角結膜炎																1	1	1.0	1.0
◇細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		
◇マイコプラズマ肺炎																	0		
◇クラミジア肺炎																	0	0.0	0.0
◇感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0		0.0
計	18	11	30	50	23	6	10	1	4	45	30	16	27	17	21	23	332		

*過去3年の同週の平均値との比

★インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇基幹定点数			1				1			1							3		

★○△◇は定点種別を示す。

セルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市)

2020年第11週(2020年3月9日~3月15日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ	0.6	1.3	1.6	2.3	1.8	0.5		0.2	1.0	5.3	2.0	1.3	2.0	1.8	0.8	1.0	1.4
RSウイルス感染症	0.2		0.2	1.3	0.6					0.5				0.5		0.3	0.2
咽頭結膜熱	0.4	0.3	0.2	1.5						0.5					0.3		0.2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.8	0.8	0.4	1.5	0.4	1.0	0.2			2.5	2.3	0.8	1.4	0.5	1.5	1.3	0.9
感染性胃腸炎	1.6	0.5	3.0	5.3	1.6		1.8			2.5	3.3	1.0	1.2	1.0	2.5	2.5	1.7
水痘			0.2										0.5	0.2		0.5	0.1
手足口病																	
伝染性紅斑					0.2												0.0
突発性発疹			0.2	0.8											0.6	0.5	0.3
ヘルパンギーナ																	
流行性耳下腺炎			0.2														0.0
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎																1.0	0.1

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

■ **太字の数字** は流行発生警報

■ **斜体の数字** は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値(左表)に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2020年第11週(2020年3月9日～3月15日)

疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ		1	6	5	10	9	9	14	6	6	5	6	4	4	8	4		2		

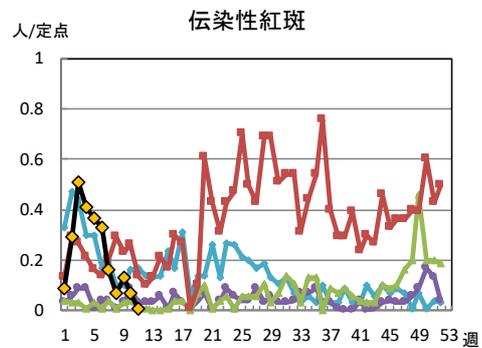
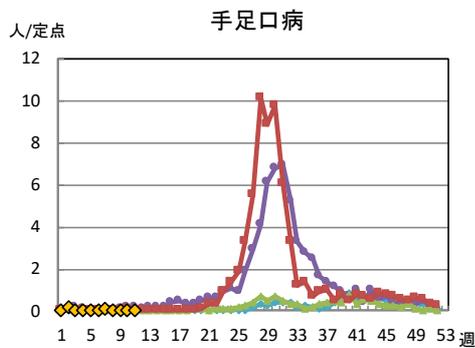
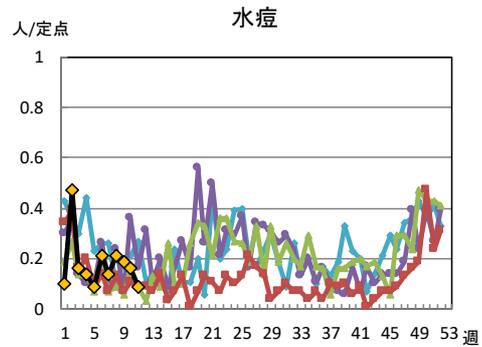
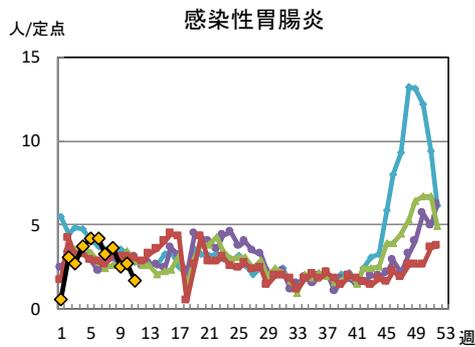
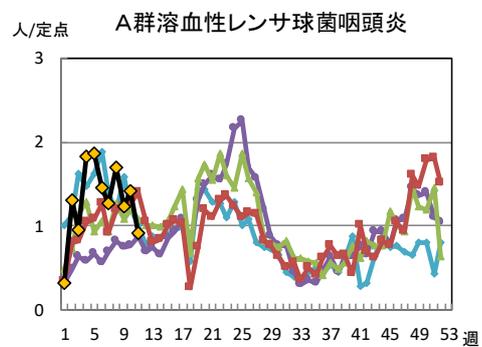
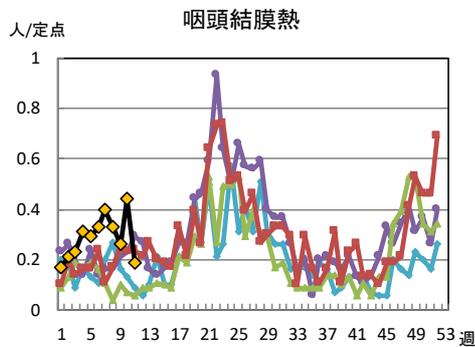
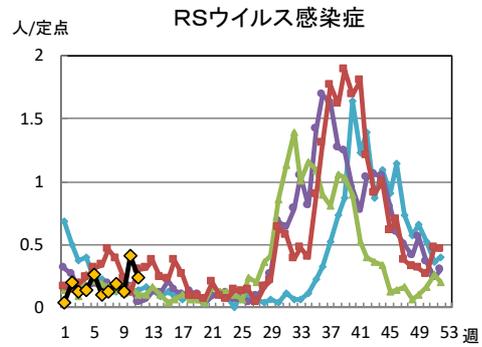
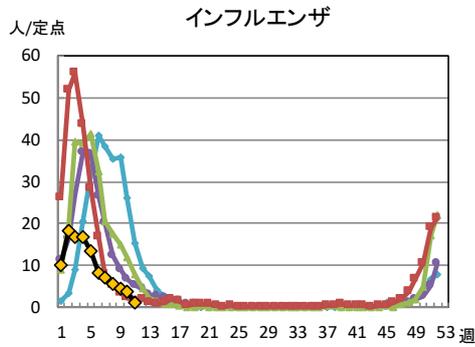
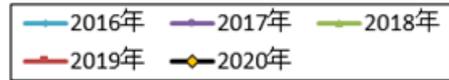
疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	2	3	6	2	1	1		1	1					
咽頭結膜熱			4	1	2	2	1	3						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	3	5	12	9	4	8	4	1		7		10
感染性胃腸炎	1	11	18	6	11	9	9	8	3	3	1	9		31
水痘				2		2	1					1		
手足口病														
伝染性紅斑									1					
突発性発しん		2	3	2	2			1						
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎									1					

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
急性出血性結膜炎																			
流行性角結膜炎													1						

疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎																
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2020年第11週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2020年第11週まで

